

韓国・朝鮮の文化にふれるアンニョン週間の図書展示と活動

実施日 令和5年9月2週目、3週目

対象 小学校1年、2年

所要時間 15分ずつ(準備時間含まず)

目的・ねらい

- 児童に韓国・朝鮮の伝統的文化に関心をもたせる。

学校図書館活用のポイント

- 学校司書が、学校図書館や大阪市立図書館の本を使い、読み聞かせや関連する遊びを行う。
- 児童に日本と韓国・朝鮮の文化の共通点や違いに関心を持たせる。

必要なもの

- 韓国のじゃんけんを使用する掲示物:干し柿(コッカム)、虎(ホランイ)、ひと(サラム)
- 展示や活動に必要な本

当日までに行うこと

- アンニョン週間中の1・2年への図書の授業における活動を、学校司書から図書主任や各担任に伝えておく。
- 展示や活動に必要な本を借りておく。

実践内容	物品	留意点
<p>〈提案〉</p> <p>本校では、国際理解学習のために「アンニョン週間」として、韓国・朝鮮の歴史や文化を知り色々な遊びを体験する取組みを行っている。</p> <p>1学期に、担当教員から、アンニョン週間の活動を学校図書館でも何か行えないかと、学校司書に提案がある。</p>		
<p>〈相談〉</p> <p>学校司書より、担当教員へ相談</p> <ul style="list-style-type: none">● 韓国や朝鮮の絵本や昔話などの本の展示期間● 読み聞かせと簡単な遊びの内容		
<p>〈準備〉</p> <p>夏休みに、学校司書が準備</p> <ul style="list-style-type: none">● 活動に必要な本を、大阪市立図書館から借りておく。● 韓国語を使ったじゃんけんの掲示物を作成。		

<p>〈実践〉</p> <p>1年生</p> <p>9月2週目 図書の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校司書からアンニョン週間に関連する本を展示していることを伝える。 ● 展示している本から、『あそびトラ』(金森 襄作/福音館書店)の絵本を読み聞かせ。 ● 韓国語の数の数え方を紹介する。 <p>2年生</p> <p>9月2週目 図書の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校司書からアンニョン週間に関連する本を展示していることを伝える。 ● 『トラと干し柿』(パクジェヒョン/光村教育図書)を読み聞かせ。 ● 韓国では、じゃんけんの時に「カウイバウイボ」ということを紹介。 ● 『トラと干し柿』の登場人物(トラ、ひと、干し柿)を体で表現することを紹介し、じゃんけんをすることを提案して「カウイバウイボ」の掛け声で数回体験して遊ぶ。 <p>9月3週目 図書の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校司書から「相撲」を知っているか質問する。 ● 日本の相撲を描いた絵本『はっきょいどーん』(やまもとななこ/講談社)を読み聞かせする。 ● 韓国・朝鮮にも伝統的な相撲があることを伝え、韓国の相撲を描いた絵本『シルム 韓国のすもう』(キムジャンソン/岩崎書店)を読み聞かせする。 ● 児童から感想の声があがれば、クラスみんなで聞く。 	<p>○ 掲示物とホワイトボード</p>	<p>○ 違いを発表させることはしないが、自然発生した感想を聞く時間を取った</p>
<p>〈結果／児童生徒・教職員の反応〉</p> <p>児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いつもと違うじゃんけんがおもしろかった。 ● 相撲が似ているけれど、違うところがおもしろかった。 ● 展示されている絵本を読んだり借りたりする児童が多くいた。 ● 自分と同じ苗字の著者を見つけ、友達に教えていた。 <p>教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 絵本を読んで遊ぶことで、より児童が楽しみ、韓国・朝鮮への関心を高めていた。 ● 日本と韓国・朝鮮の文化の近さを感じることができて、おもしろかった。 		